

イスカンダル地域における脱炭素モデルエリア構築事業(フェーズ2) (北九州市ーイスカンダル地域開発庁連携事業)

1 実施者 : 北九州市、(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、
イスカンダル地域開発庁、日鉄エンジニアリング(株)、アミタ(株)

2 事業概要

北九州市と IRDA (Iskandar Regional Development Authority イスカンダル地域開発庁) の連携の下、以下の活動を実施する。

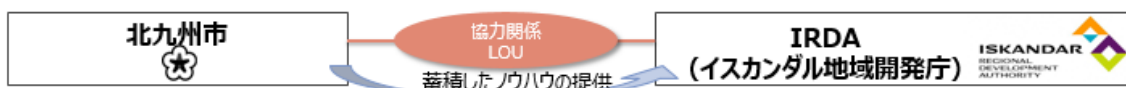
- (1) 産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討
- (2) 民生部門の脱炭素化に向けたベースロード電源としての廃棄物発電設備導入

北九州市ーイスカンダル地域 都市間連携事業調査事業概要

都市間連携に基づく、ゼロカーボン先行エリア創出事業



イスカンダル地域においてゼロカーボン先行エリアを生み出すべく、北九州の有するゼロカーボンシティ実現のための計画策定ノウハウ等を活用し、産業部門・民生部門において、わが国の先端的な技術を用いた先行プロジェクトを創出、脱炭素モデルエリアの構築を目指す。



令和5年度 脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務

活動1

産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討

産業部門の脱炭素化に向けた産業間連携プロジェクト創出検討
・候補工業団地における排水・排熱等の発生状況等や用排水の設備・パイプライン等のインフラ設備状況調査を実施
・参画候補企業の選定を実施し、コンソーシアムを形成・パイロットプロジェクトに向けた協議を実施

活動2

民生部門の脱炭素化に向けた ベースロード電源としての廃棄物発電設備導入検討

ベースロード電源としての廃棄物発電設備導入 (Seelomg最終処分場におけるごみ質調査の実施及び、事業計画案の精査・高度化等を実施)

先行プロジェクトの創出 + イスカンダル地域内外に横展開可能なモデルエリア構築

3 イスカンダル地域について



【イスカンダル地域】

- ・概要：ジョホール州最南部、シンガポール対岸のジョホールバル市を中心としたエリアがイスカンダル地域に指定されており、マレーシア第二の経済都市圏
- ・人口：約 221 万人 (2020 年、マレーシア国勢調査)
- ・面積：2,217km²